

Road To Referee (審判員への道) — 審判員資格取得方法 —

資格	大会カテゴリー						資格取得のためには	試験	受講年齢制限	費用	問い合わせ先
	小	中	高	大学	Vリーグ	国際大会					
都道府県協会 公認審判員	○	○	○	×	×	×	★都道府県により実施状況が異なるので 確認が必要	★試験の形態は都道府県協会によって 異なるので要確認	なし	主催団体により異なる	各都道府県 バレーボール協会
日本バレーボール協会 公認C級審判員	○	○	○	○	×	×	★各都道府県協会等※ 単位で実施 ★6人制、9人制、ビーチの中のいずれかで 受講できる	★試験の形態は都道府県協会によって異なるので 要確認 〔筆記のみであれば筆記+実技の協会もある〕	なし	受験料(資料代) 3千円～5千円程度 *別途ワッペン代として 2千円程度必要	各都道府県 バレーボール協会等※
日本バレーボール協会 公認B級審判員	○	○	○	○	×	×	★各都道府県協会等※ 単位で実施 ★6人制、9人制、ビーチの中のいずれかで 受講できる	★試験の形態は都道府県協会によって異なるので 要確認 〔原則として筆記+実技で実施〕	なし	受験料(資料代) 3千円～5千円程度 *別途ワッペン代として 2千円程度必要	各都道府県 バレーボール協会等※
日本バレーボール協会 公認A級審判員	○	○	○	○	○	×	★JVA審判規則委員会主催の講習会で 取得可能 (4泊5日程度の日数を要し、8月に実施して いる)	★都道府県協会の推薦を受け2年に一度実施される 「A級審判員資格取得講習会(A級審査会)」を受講 ★極めて優秀であればA級(任期4年)、優秀者はA級 候補(任期2年)に認定 ★A級候補からA級への昇任は、ブロック大会以上の 大会での実績(要確認)で審査される	18歳以上 原則40歳以下	受験料(資料代) 5千円程度 合格後、ワッペン代として 2千円～5千円程度必要 (宿泊代等は自己負担)	各都道府県 バレーボール協会
アジアバレーボール連盟 (AVC)公認審判員	○	○	○	○	○	○	★アジア各国で開催されるAIRCC(Asian International Referee Candidate Course)を 受講し、合格後アジアバレーボール連盟公 認審判員候補と認定されることが必須条件 となる	★国際審判員希望者に対して、JVA審判規則委員会 が研修活動評価、語学検査を実施 〔口頭試問+日常会話+競技規則の理解等〕に合格 後、JVAから推薦された審判員が6人制・ビーチのい ずれかを受講可能となる ★アジアバレーボール連盟審判員候補を経て、AVC 公認の大陸大会において主審・副審を複数回担当 し、AVCより認定される(各2回程度)	40歳 以下	参加する開催国により異 なる (渡航費、宿泊費、受講料 等すべて自己負担)	日本バレーボール協会 審判規則委員会
国際バレーボール連盟 (FIVB)公認審判員	○	○	○	○	○	○	★アジアバレーボール連盟公認審判員として 世界各国で開催されるIRCC(International Referee Candidate Course)を受講後認定さ れる	★アジアバレーボール連盟公認審判員としての実績 を重ね、5年に1度程度開催されるIRCC(大会利用あ り)にAVCから推薦され、受講後認定される	40歳 以下	参加する開催国により異 なる (渡航費、宿泊費、受講料 等すべて自己負担)	日本バレーボール協会 審判規則委員会

※都道府県協会・連盟または加盟団体および友好団体を『都道府県協会等』という